

第89期
中間報告書

平成25年4月1日 ▶ 平成25年9月30日

目次

株主の皆様へ	1
トピックス	3
連結財務諸表の要旨	7
業績等(連結)の推移	8
株主メモ	9
会社概要等	10

新日鐵住金株式会社

証券コード：5401

株主の皆様へ

株主の皆様の日頃のご理解・ご支援に、心からお礼申し上げます。

当社はこの10月に、経営統合から1年を迎えました。この間、鉄鋼業のグローバル競争が激化していく厳しい環境のなか、統合効果の早期かつ最大限の発揮に向け、懸命な経営努力を重ねてまいりました。引き続き、本年3月に策定いたしました中期経営計画に掲げた諸施策を強力に推進し、「総合力世界No.1鉄鋼メーカー」の早期実現を目指してまいる所存です。



鹿島製鐵所を巡回視察する宗岡会長（中）と友野社長（右）

（当上半期の事業・決算の概況）

平成25年度上半期(本年4月1日から9月30日まで)の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当上半期の世界経済は、欧州景気の低迷が継続したものの、中国・ASEANの経済成長は鈍化しながらも緩やかな拡大が続いていることに加え、米国経済の回復基調が継続したこと等により、全体として緩やかな成長が続きました。日本経済は、堅調な公共投資に加え、企業収益好転や生産活動の回復に伴う設備投資の増加および個人消費マインド改善を背景に、着実な景気持ち直しの動きが見られました。

国内鉄鋼需要は、復興需要の継続や経済政策効果の本格化により土木・建築向けが堅調に推移するとともに、設備投資の回復や景況感の好転等に伴い、製造業向けも増加しました。輸出については、回復の動きが見られましたが、国際市況については、中国鉄鋼メーカーの供給圧力が依然強く、鋼材需給の軟化が継続し、引き続き低迷することとなりました。

こうした事業環境のもと、当社としては、統合効果を含むコスト改善施策を最大限実行するとともに、鋼材価格につきましては、需要家の皆様にご理解いただけるよう丁寧な対応に努めてまいりました。

当上半期の連結業績につきましては、売上高は2兆6,745億円、営業利益は1,392億円、経常利益は1,736億円となり、投資有価証券売却益や設備休止関連損失を計上したことにより、四半期純利益は1,155億円となりました。

(当第2四半期末(中間期末)の剰余金の配当)

当第2四半期末(中間期末)の剰余金の配当につきましては、本報告書9頁に記載の基本方針に従い、1株につき2円とさせていただくことといたしました。

(今後の見通し)

世界経済は、全体として緩やかな成長が続くものと期待されます。日本経済は、円高の修正や消費税増税前の駆け込み需要に加え、設備投資の回復および個人消費の回復を背景に、引き続き自律的回復に向けた動きが強まっています。

国内鉄鋼需要は、引き続き下半期にかけて土木・建築向けで需要増加が見込まれるとともに、設備投資の回復や景況感の好転等に伴い、製造業向けも需要の増加が期待されます。輸出については、堅調に推移すると見込まれるものの、中国鉄鋼メーカーの高生産が依然継続しており、鋼材需給やアジア市況の動向等を注視していく必要があります。

こうした状況下、当社としては、中期経営計画の諸施策を引き続き強力に推進し、最大限の経営努力を継続するとともに、適正な販売価格を確保すべく、需要家の皆様にご理解いただけるよう丁寧な対応を図っていく所存です。

平成25年度下半期の業績につきましては、統合効果を含めたコスト改善の着実な実行やグループ会社の収益改善を図るものの、八幡製鐵所第4高炉の改修影響があることに加え、為替変動による外貨建て資産の評価益の計上がなくなる見込みであり、上半期と同程度の連結経常利益1,700億円レベル、平成25年度通期では、連結経常利益3,400億円の収益を確保したいと考えています。

また、期末の配当方針につきましては、第3四半期決算発表時に判断し、公表する予定です。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ、以上の諸事情をご賢察のうえ、今後ともご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役会長 兼 CEO **宗岡 正二**

代表取締役社長 兼 COO **友野 宏**

トピックス

中期経営計画で掲げた「グローバル戦略の推進」をはじめとする諸施策の推進状況をご報告いたします。

製鉄事業

■ グローバル戦略の推進

中国における自動車用鋼板合弁会社の能力を強化します

当社と宝山鋼鉄株式有限公司が中国に設立した合弁会社である宝鋼新日鐵自動車鋼板有限公司において、第4溶融亜鉛めっきラインを現行ラインの隣接地に新設することを計画しておりましたが、このたび同社は上海市政府より同ライン新設に関する批准を取得いたしました。新ラインは平成27年の稼働開始を予定しています。

ベトナムにおける薄板合弁会社が営業運転を開始しました

当社と台湾の中國鋼鐵股份有限公司がベトナムに設立した薄板の製造・販売合弁会社であるCSVC社が本年11月より営業運転を開始いたしました。

タイにおける溶融亜鉛めっき鋼板事業会社が営業運転を開始しました

当社がタイに設立した溶融亜鉛めっき鋼板製造・販売事業会社であるNSGT社が本年10月より営業運転を開始いたしました。

インドにおける自動車用鋼管事業会社が本格生産を開始しました

日鉄住金鋼管(株)の連結子会社であるSNP社が出資するNS Pipe India社は、造管から伸管・熱処理・加工に至る一貫製造体制を構築し、本年6月より本格生産を開始いたしました。

メキシコにおける自動車用鋼管事業会社が営業運転を開始しました

日鉄住金鋼管(株)の連結子会社であるNS Pipe Mexico社が本年5月より営業運転を開始いたしました。

メキシコにおける自動車用鋼板合弁会社が営業運転を開始しました

当社とTERNIUM社がメキシコに設立した溶融亜鉛めっき鋼板製造・販売合弁会社であるTENIGAL社が本年8月より営業運転を開始し、9月には現地工場においてメキシコ大統領を招いてオープニングセレモニーを挙行いたしました。



CSVC社溶融亜鉛めっき製造ライン



NSGT社外観



オープニングセレモニーでスピーチする当社樋口副社長

■ 技術先進性の発揮

自動車の衝突安全性の向上と軽量化に一層貢献していきます

当社が開発した、強度1.2ギガパスカル級合金化溶融亜鉛めっき高張力鋼板が、国内自動車メーカーでは初めて、スズキ(株)の新型軽自動車「スペーシア」の主要骨格部品に採用されました。

低品位原料炭使用比率の拡大や大幅な省エネルギーをさらに推進していきます

大分製鐵所第5コークス炉に続いて、次世代コークス製造技術「SCOPE21」を導入した名古屋製鐵所第5コークス炉が本年6月に竣工しました。「SCOPE21」とは鉄鋼業を取り巻く資源・エネルギー問題への対応力強化等を目的に、経済産業省管轄の国家プロジェクトとして開発された技術です。

LNGタンク用に省資源と高性能を両立する鋼板を開発しました

当社が開発した半世紀ぶりの新規格製品である「LNGタンク用7%ニッケル鋼板」が現在建設中の世界最大規模のLNGタンクに採用されています。同製品は、ニッケル量を約20%削減しながら従来鋼と同等の高い安全性と強度を実現しました。

安全・快適な鉄道の発展に貢献する鉄道車両品を開発しています

当社が開発した鉄道車両の横揺れを低減させる鉄道車両用動揺防止制御装置は、本年10月より運行を開始した九州旅客鉄道(株)の豪華寝台列車クルーズトレイン「ななつ星in九州」にも採用されています。

我が国の科学技術の向上等に貢献した案件を表彰する伝統と権威ある賞を受賞しました

当社は(公社)発明協会による平成25年度全国発明表彰において、省資源型高強度電磁鋼板の発明による「21世紀発明賞」とLSI用新型高機能銅ボンディングワイヤの発明による「特許庁長官賞」をダブル受賞しました。また、第5回ものづくり日本大賞において、高品質・高効率・低環境負荷を同時に実現できる新製鋼プロセスの開発により「特別賞」を受賞しました。



名古屋製鐵所第5コークス炉



7%ニッケル鋼板が採用された建設中の大阪ガス(株)東北第一工場5号タンク
内容量23万m³の世界最大級のLNGタンクで、同製品約3,800トンが使用される



クルーズトレイン「ななつ星in九州」
写真提供：九州旅客鉄道(株)

■ 世界最高水準のコスト競争力の実現

3年間程度を目途に年率2,000億円以上の統合効果の実現を目指しています

当上半期までに年率500億円の統合効果を実現、当上半期において1,400億円（累計2,400億円）の資産圧縮を図りました。

■ 最適生産体制の構築

「上工程では、より小さな固定費・低コストで高い生産性」、「圧延ラインでは、競争力あるラインへの集約、需要に対応した拠点の最適配置」を構築していきます

当上半期において、名古屋製鐵所No.4溶融亜鉛めっき工場の休止、鹿島・君津製鐵所厚板工場の圧延シフトダウンを行いました。

■ 製鉄グループ会社の体質強化

グループ強化の検討を加速し、実行しています

分野	統合した会社	新会社名	実施時期
物流	日鐵物流(株)と住友金属物流(株)	日鐵住金物流(株)	平成25年4月
鋼管(電縫管)	住友鋼管(株)と日鐵鋼管(株)	日鐵住金鋼管(株)	平成25年10月
商社	住金物産(株)と日鐵商事(株)	日鐵住金物産(株)	平成25年10月
総合エンジニアリング	太平工業(株)と(株)日鐵エレックス	日鐵住金テックスエンジ(株)	平成25年10月

■ 組織業務運営の改善

製鉄事業のさらなる強化に向けた組織の統合・再編成を実行します

統合・再編する組織	新組織名	実施時期
八幡製鐵所と棒線事業部小倉製鐵所	八幡製鐵所	平成26年4月
和歌山製鐵所と建材事業部堺製鐵所	和歌山製鐵所	平成26年4月
君津製鐵所と鋼管事業部東京製造所	君津製鐵所	平成26年4月

エンジニアリング事業

新日鉄住金エンジニアリング(株)は、海外売上比率の向上等に積極的に取り組んでいます。



タイ沖合の石油天然ガス採掘プラットフォーム

化学事業

新日鉄住金化学(株)は、スチレンモノマー分野でのコスト競争力向上を図り、本年7月に大分製造所No.2製造設備のリニューアル工事を完工いたしました。



大分製造所No.2スチレンモノマー製造設備

新素材事業

新日鉄住金マテリアルズ(株)は、排ガス浄化用メタル担体分野において、急速な需要増に対応すべく、二輪車の世界三大市場である中国・インドネシア・インドに進出し、供給体制を構築しています。



排ガス浄化用メタル担体とその採用事例

システムソリューション事業

新日鉄住金ソリューションズ(株)は、データセンターとクラウド基盤をコアにした包括的ITアウトソーシングサービス「NSFITOS (エヌエスフィットス)」の提供を開始いたしました。



NSFITOSロゴマーク



次世代型データセンターである第5データセンター

連結財務諸表の要旨

■ 連結貸借対照表

(単位：億円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)
資産の部	
流動資産	21,276
固定資産	49,012
資産合計	70,289
負債の部	
流動負債	18,639
固定負債	20,922
負債合計	39,561
純資産の部	
株主資本	22,666
その他の包括利益累計額	2,570
少数株主持分	5,491
純資産合計	30,727
負債純資産合計	70,289

■ 連結損益計算書

(単位：億円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
売上高	26,745
売上原価	23,125
売上総利益	3,620
販売費及び一般管理費	2,227
営業利益	1,392
営業外収益	754
営業外費用	410
経常利益	1,736
特別利益	311
特別損失	145
税金等調整前四半期純利益	1,902
法人税等	666
少数株主利益	79
四半期純利益	1,155

■ セグメント情報 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位：億円)

	報告セグメント						調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	製鉄	エンジニアリング	化学	新素材	システムソリューション	合計		
売上高	23,836	1,343	1,150	192	814	27,336	△590	26,745
セグメント利益	1,582	36	70	6	48	1,743	△7	1,736

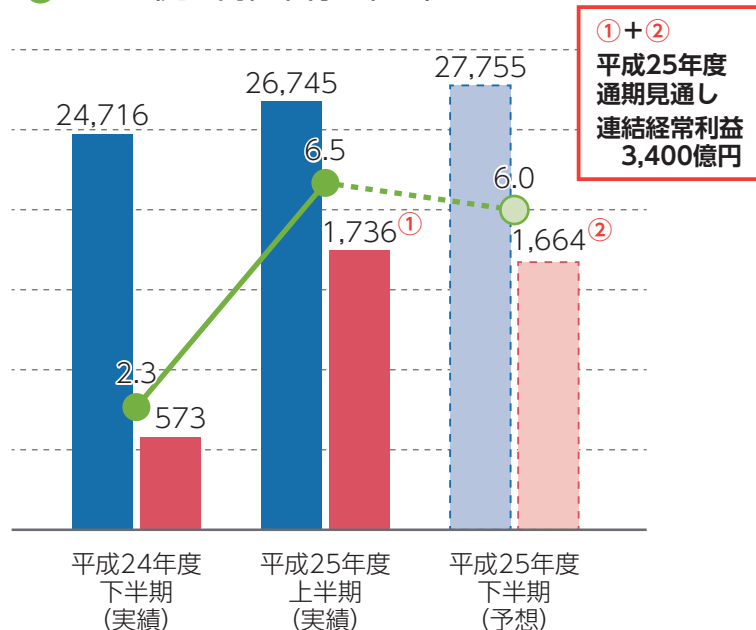
※金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

業績等(連結)の推移

業績

■ 売上高(億円) ■ 経常利益(億円)

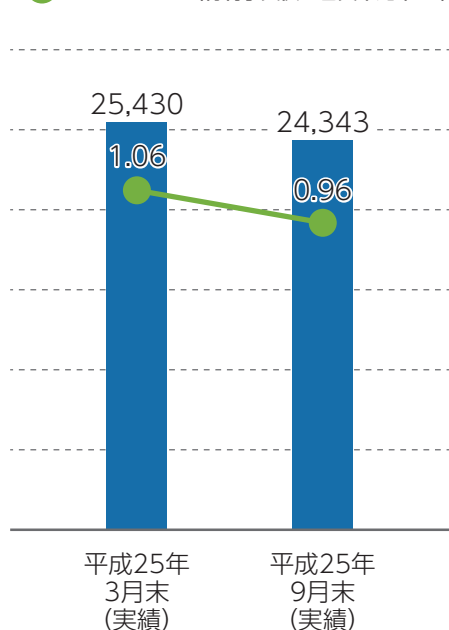
● ROS(売上高経常利益率 %)



財務体質

■ 有利子負債残高(億円)

● D/Eレシオ(有利子負債自己資本比率 %)



<平成25年度下半期および平成25年度通期業績見通し>

平成25年度下半期の業績につきましては、統合効果を含めたコスト改善の着実な実行やグループ会社の収益改善を図るものの、八幡製鐵所第4高炉の改修影響があることに加え、為替変動による外貨建て資産の評価益の計上がなくなる見込みであり、上半期と同程度の連結経常利益1,700億円レベル、平成25年度通期では、連結経常利益3,400億円の収益を確保したいと考えています。

株主メモ

配当の基本方針について

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結および単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末（中間期末）および期末の剰余金の配当を実施する方針といたしております。「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20%程度を基準といたします。

なお、第2四半期（中間期末）の剰余金の配当は、中間期業績および年度業績見通しを踏まえて判断することとしております。

株主優待について

当社は、見学会・説明会をはじめ、各種ご優待を実施いたします。
詳細につきましては、対象の株主様にご案内申し上げます。

■ 見学会・説明会

項目	内容	ご案内回数 (実施時期)	ご案内対象
工場見学会へのご招待（抽選）	製鉄所、製造所の見学にご招待いたします。 (年に2回（春と秋）、各回4～5カ所の製鉄所・製造所で開催しますので、その中から1カ所を選択してご応募いただけます。)	年2回ご案内 (3～4月頃、 10～11月頃)	9月末・3月末における 10,000株以上 保有の株主様
経営概況説明会へのご招待（抽選）	東京・大阪をはじめ、各地で開催いたします。	年2回ご案内 (7～9月頃、 2～3月頃)	

■ 各種ご優待

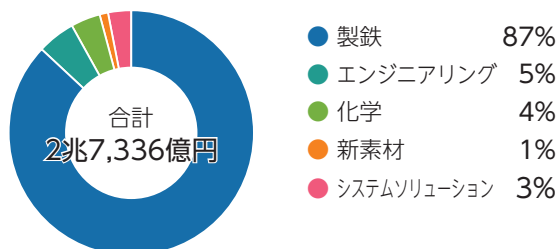
項目	内容	ご案内回数 (実施時期)	ご案内対象
鹿島アントラーズ観戦ご招待（抽選）	J1リーグ戦（ホームゲームまたはアウェイゲーム）にご招待いたします。	年2回ご案内 (4～8月頃、 8～12月頃)	9月末・3月末における 5,000株以上 保有の株主様
当社カレンダーのご送付	当社カレンダーをご送付いたします。	年1回ご送付 (11月下旬～ 12月初旬)	9月末における 7,000株以上 保有の株主様
紀尾井ホール演奏会へのご招待（抽選）	「紀尾井シンフォニエッタ東京」の定期演奏会をはじめとした各種演奏会にご招待いたします。	年2回ご案内 (3～7月頃、 9～2月頃)	9月末・3月末における 50,000株以上 保有の株主様

会社概要等

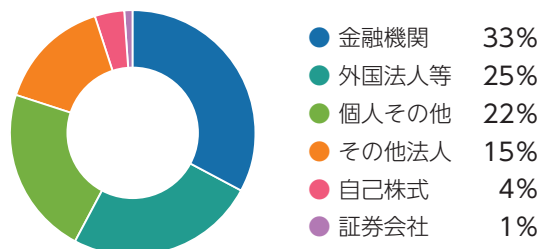
会社概要

商号	新日鐵住金株式会社 (NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION)
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
資本金	4,195億円
事業内容	製鉄、エンジニアリング、化学、新素材、システムソリューションの各事業
従業員数（連結）	83,187人（平成25年3月31日現在）
上場証券取引所	東京、名古屋、福岡、札幌
証券コード	5401
発行可能株式総数	20,000,000,000株
発行済株式の総数	9,503,214,022株（平成25年9月30日現在）
株主数	555,709人（平成25年9月30日現在）

事業別売上高構成比（平成25年度上半期実績）



株主構成別持株比率（平成25年9月30日現在）



大株主の状況（平成25年9月30日現在）

氏名又は名称	持株数（千株）	持株比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	425,718	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	340,444	3.6
住友商事株式会社	312,690	3.3
日本生命保険相互会社	266,825	2.8
株式会社みずほ銀行	182,600	1.9
株式会社三井住友銀行	146,470	1.5
明治安田生命保険相互会社	138,977	1.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	136,356	1.4
株式会社神戸製鋼所	134,882	1.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	131,812	1.4
計	2,216,777	23.3

新日鐵住金グループ企業理念

基本理念

新日鐵住金グループは、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献します。

経営理念

1. 信用・信頼を大切にするグループであり続けます。
2. 社会に役立つ製品・サービスを提供し、お客様とともに発展します。
3. 常に世界最高の技術とものづくりの力を追求します。
4. 変化を先取りし、自らの変革に努め、さらなる進歩を目指して挑戦します。
5. 人を育て活かし、活力溢れるグループを築きます。

株式事務の取扱について

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日、9月30日およびその他取締役会が定める日
単元株式数	1,000株
電子公告を掲載するホームページアドレス	当社ホームページ http://www.nssmc.com/
定款および株式取扱規程	当社ホームページの「株主・投資家情報」に掲載しています。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (電話照会先) 当社株主様専用ダイヤル 0120-785-401 (フリーダイヤル) 株主名簿管理人代表電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

●住所変更、単元未満株式の買取り・買増しのお申出先

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払い

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●単元未満株式の買取り・買増しに係る手数料

別途定める金額
(当社ホームページの「株主・投資家情報」に掲載していますのでご参照ください。)

新日鐵住金株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号

TEL:03-6867-4111(代表)

ホームページアドレス: <http://www.nssmc.com/>



環境に優しい「植物油インキ」を使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。